

令和4（2022）年度 日本体育大学 入学式 午前（学長式辞）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。日本体育大学の教職員を代表して、皆さんを歓迎するとともに、心よりお祝い申し上げます。また、保護者の皆さま、本日は誠にありがとうございます。本来であれば、全ての新入生と、多数のご家族の皆様をお招きして、お祝いをするところですが、感染防止の観点から、午前中は体育学部の学生と、1名のご家族の方のみのご参加となることを、御理解賜ればと思います。

さて、皆さんが晴れて入学された日本体育大学は、日高藤吉郎先生によって今から131年前の1891年に設立されました。131年前と言えば、明治時代の中頃ですが、その当時は、初めて衆議院選挙が実施され、第1回の帝国議会が召集された時代でもあります。当時の日本では、スポーツが広く国民に行きわたっておりませんが、海外では第1回の近代オリンピックが開催された時期でもあります。本学は、日本が近代国家として整備されていく時代、またスポーツの国際競技大会が創設されていく時代に産声を上げており、大変長い歴史と伝統を有する大学であるといえます。

中でも、本学は、明治時代より一貫して体育やスポーツの指導者養成をしており、とりわけ多くの中学校や高等学校の保健体育科の教員を輩出してきました。現在では、これに加えて、幼稚園、保育園、小学校、特別支援学校、養護教諭の教員養成や、各種スポーツの指導者養成を行っています。

また、本学は、あらゆるスポーツの競技力向上とそれを支える人の養成にも力を入れています。ご承知のように、昨年度は夏季及び冬季のオリンピック・パラリンピック大会が東京と北京で開催され、本学の学生、教職員、同窓生が、選手、コーチ、役員、医療従事者、ボランティアスタッフとして参加をしていました。また、大学に目を向けると、多くの学生が70以上ある学友会活動に参加し、学生生活を充実させています。

さらに、近年では、柔道整復・救急救命といった医療の分野で活躍できる人材の育成や、スポーツを通じた国際貢献のできる人材、スポーツ産業や人々の健康増進に貢献しうる人材の育成にも力を入れています。

このように本学では、皆さんのしてみたいこと、挑戦したいこと、あるいは将来こうなりたいといった夢の実現に向けて、様々な学びが用意されています。その学びを充実させるために、私から2つのお願いがあります。

1つ目は、「問い」を持ってください。大学は学問の場であり、知的探求の場でもあります。スポーツや教育は人間にとってどのような価値があるのか。新しいスポーツ技術を身につけるには、どのような方法が効果的なのか。人々の健康的な暮らしを守るためにはどのようにすればよいのか、といった「問い」とその答えを、大学の授業や実習、そして学友会活動の中で発見するようにしてください。

2つ目は「つながり」や「きずな」を深める機会を持って下さい。本学は、日本全国、あるいは国を超えて学生が集まっています。こうして集まった人と深くつながり、きずなをつくって行って下さい。同級生、先輩・後輩、教職員らと語り、様々な活動を通して多様な価値観を学んで下さい。皆さんは「ダイバーシティ」という言葉を聞いたことがあるかもしれませんが、人種、国籍、性、年齢、障害の有無を超えて、多様な価値観や考え方を受け入れ、共に生きていくことを大切にする考え方です。本学でも、こうしたダイバーシティの考え方を推奨しており、新入生の皆さんにも多様な人との「つながり」や「きずな」を通じて、様々な価値観と触れあい、それを自分自身のこととして感じ取って、受け入れてほしいと思っています。

人生 100 年時代と言われるようになりましたが、その中で大学に在籍する期間は一瞬の時間かもしれません。しかし、この大学生という時間は、間違いなく皆さんの人生を方向付ける重要なものとなります。自分自身の目標をしっかりと持って、一歩ずつ進んでいくことで、夢の実現に近づくはずです。学生生活の中で、今までに出会うことのなかった世界と接続し、一回りも二回りも成長することを期待しています。

最後に、本学での学生生活が皆さんにとって、実り多く、充実したものになるように、お祈りし、私の式辞といたします。

令和4年4月3日
日本体育大学 学長 石井隆憲